

東京都ボランティア活動推進協議会

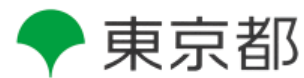
大会関連ボランティア分科会

都市ボランティア検討部会

東京都生活文化局
東京都オリンピック・パラリンピック準備局

2015年9月3日（木曜日）

1. 2020年大会を契機に、ボランティア先進都市へ成長



課題と現状

2020年大会の成功に向けて、
より多くの都民のボランティアへの参加が不可欠
ー 東京都のボランティア行動者率 24.6% (2011年度実績)

大会を契機に、一層醸成が進んだ都民のおもてなし精神がボランティア文化として定着しボランティア行動者率40.0% (2024年度) を達成

幅広い市民活動への支援を通じた、共助社会の実現

互いに支え合う共助社会の実現

- ▶ 町会・自治会等の地域活動やスポーツ大会でのボランティアなど、あらゆる場面での市民活動を活性化
- ▶ ボランティアなどの社会貢献活動の活性化

東京ボランティア・市民活動センターとの連携による、社会貢献活動の促進

- ▶ ボランティア参加者や活動団体への情報提供等を行うとともに、NPO・大学・企業のCSR部門との協働・連携など、幅広い社会貢献活動を促進

～「東京都長期ビジョン」より

2. ボランティア活動の推進による共助社会の実現に向けて 東京都

目標

2020年東京大会を契機として、都民のボランティア活動気運を醸成し、活動を支援する

ボランティア人材の継続的育成、活動機会の拡大、人材と活動機会のマッチング等が進み、**ボランティア文化が定着**

**社会全体で
ボランティア
活動を
応援！**

**東京都
ボランティア
活動推進協議会
設置**

設置趣旨

- ①多様な主体（企業、学校、NPOなど民間団体、行政など）が集まり、ボランティア**気運を醸成**
- ②**2020年東京大会の成功**に向け、ボランティア活動を推進

◎会長 舩添都知事
○副会長 公立大学法人首都大学東京 川淵理事長
東京商工会議所 佐々木副会頭

役割

ボランティア活動を推進することについて賛同する団体で構成され、意見交換、情報共有等を行い、それぞれが以下の役割を担う。

- ①情報発信：活動に関心のない若年層や受入れ側などへの情報発信
- ②裾野拡大：新たな受入機会や活動しやすいメニュー開拓の働きかけ
- ③大会成功：大会関連ボランティアの裾野拡大・都市ボランティアの体制検討

当面の活動内容

- インターネット媒体を利用した活動を推進するための情報発信への協力
- 各構成団体におけるボランティアコーディネーターの人材育成の促進
- 時間の限られた人なども参加できる活動機会の創出と提供への支援
- ボランティア活動による社会貢献に積極的な団体への顕彰への協力など

東京都ボランティア活動推進協議会

大会関連ボランティア分科会

分科会会長：オリンピック・パラリンピック準備局長

活動内容

- ①大会関連ボランティアに関する情報提供、裾野拡大及び気運醸成
- ②分科会メンバーによる各種育成取組への支援・促進

都市ボランティア検討部会

部会会長：オリンピック・パラリンピック準備局 運営担当部長

活動内容

都市ボランティアの運用体制や活動内容の検討

5. 大会関連ボランティア (都市ボランティアと大会ボランティア)

| | 都市ボランティア | 大会ボランティア |
|------|-----------------------|-------------------------|
| 運営主体 | 東京都 | 大会組織委員会 |
| 活動内容 | 国内外からの観光客への観光・交通案内に従事 | 競技運営、会場案内、輸送などの大会運営に従事 |
| 活動場所 | 主要な空港・ターミナル駅・観光地など | 競技会場、選手村などの大会関係会場及びその周辺 |
| 規模 | 1万人以上 | 約8万人を想定 (過去大会参考) |

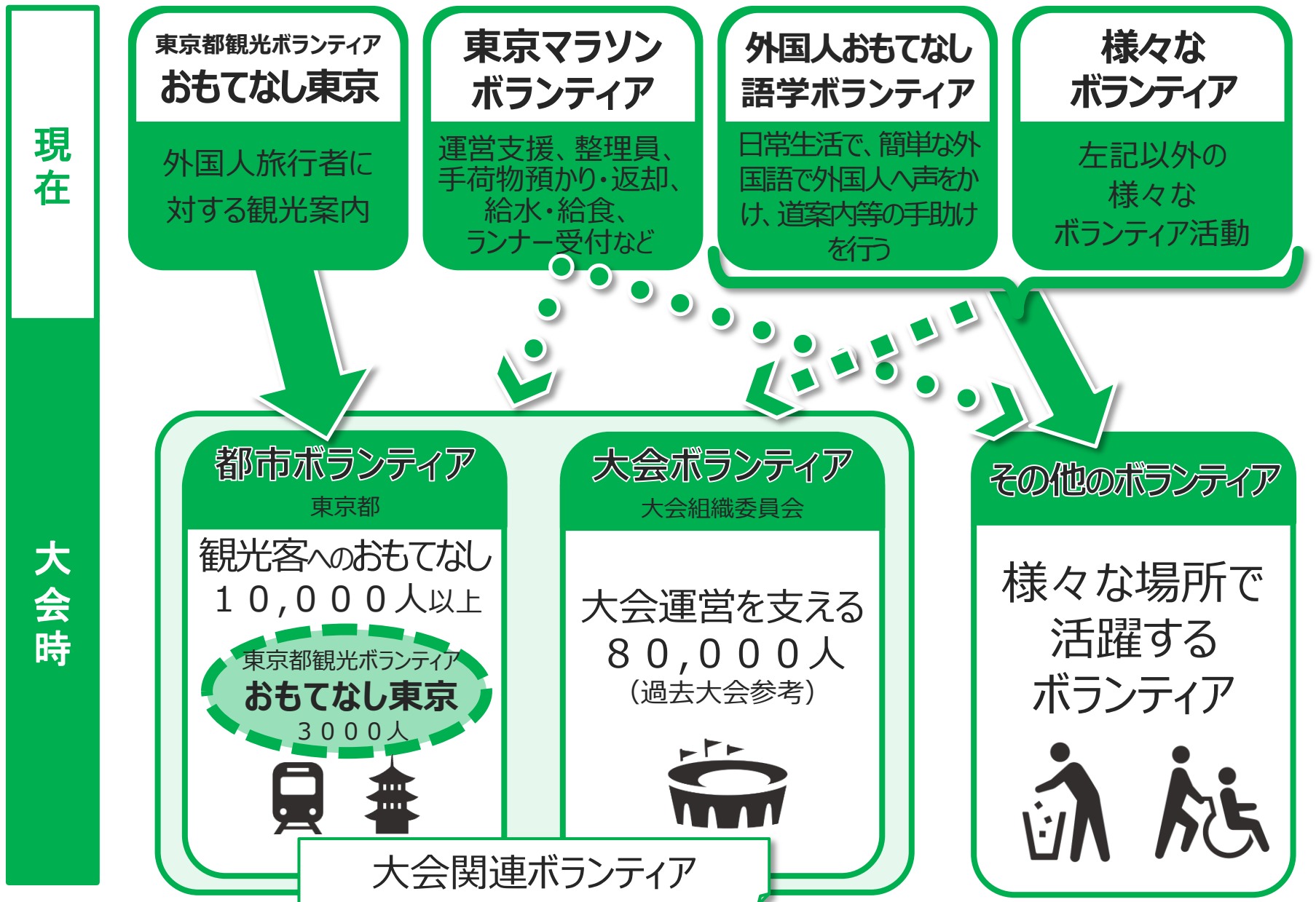


ロンドンの都市ボランティア London Ambassador



ロンドンの大会ボランティア Games Maker

6. 現在と大会時のボランティア



7. スケジュール



大会関連ボランティアに関する情報共有
人材の裾野拡大、気運醸成に向けた取組

・東京都ボランティア活動推進協議会 開催：1～2回/年

・大会関連ボランティア分科会 開催：1～2回/年

・都市ボランティア検討部会 開催：2～3回/年

都民の
ボランティア
行動者率
40%

大会での
ボランティアの
活躍

都市
ボランティア
募集

育成